



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 荏原製作所

上場取引所 東 札

コード番号 6361 URL <http://www.ebara.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢後 夏之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長

(氏名) 長木 健悟

TEL 03-3743-6111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	80,037	△3.8	2,375	△54.0	1,648	△60.5	417	△57.8
23年3月期第1四半期	83,180	△11.3	5,165	—	4,176	—	988	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,002百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △361百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.99	0.97
23年3月期第1四半期	2.34	2.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	503,901	155,557	30.1
23年3月期	507,898	154,939	29.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 151,864百万円 23年3月期 151,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	180,000	4.0	9,000	△6.7	7,500	△3.3	4,000	3.0	9.48
通期	405,000	0.8	28,000	△11.2	25,000	△13.0	13,000	△53.9	30.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	422,725,658 株	23年3月期	459,245,678 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	651,628 株	23年3月期	37,168,870 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	422,075,001 株	23年3月期1Q	422,182,415 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成23年5月9日に公表いたしました連結業績予想の第2四半期連結累計期間を修正しています。なお、通期の連結業績予想につきましては、修正しておりません。
- 2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

《業績の全般的概況》

当第1四半期における事業環境は、海外では米国において雇用環境の改善が遅れていることなどにより景気回復が緩やかとなり、ヨーロッパにおいても一部の国の金融システム不安を背景に回復度合いは低調となりました。一方、アジアでは中国、インドの景気が堅調な内需を受けて引き続き好調に推移しました。国内では、公共部門において予算縮減の影響により投資が低調であり、民間部門においても東日本大震災の影響により設備投資や住宅建設などが鈍化しており、景気は総じて弱い動きで推移しました。

このような経済情勢のもと当社グループは、平成25年度を目標年度とする3ヵ年の中期経営計画「E-Plan2013」の初年度として、①重点地域での“城産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産及び製品供給体制を確立する、②中核事業の領域拡大により新市場への進出を図る、③科学的アプローチにより“ものづくり”プロセスの最適化を図る、④事業領域のグローバル化に即して本社機能を拡充する、という4つの基本方針のもと、より確実で安定した事業構造の確立に向けてスタートしました。

当第1四半期連結累計期間は前年同四半期と比べ、売上高は、精密・電子事業の売上増加はあったものの、全体としては減収となりました。営業損益は、風水力事業の減益を精密・電子事業の利益増でカバーできず、全体としては減益となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は800億37百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益は23億75百万円（前年同四半期比54.0%減）、経常利益は16億48百万円（前年同四半期比60.5%減）、四半期純利益は4億17百万円（前年同四半期比57.8%減）となりました。

《セグメントの状況》

風水力事業では、ポンプ事業は海外市場において、世界的なエネルギー需要の拡大と原油・ガス価格の上昇により、石油・ガス業界、電力業界が活況を呈しつつあり、海水淡水化を含む水インフラ設備業界も中東を中心に需要が拡大しました。そのような中、海外拠点を拡充し特に中東のサービス&サポート拠点のネットワーク整備を進めました。国内市場においては、東日本大震災の影響による経済の混乱が続く中で、被災したポンプ機場や発電所等のインフラ設備の復旧に最優先で対応しました。コンプレッサ・タービン事業では、石油・ガス業界が上向きつつある中、中国やインドを中心に新規案件が増加しました。冷熱事業では、国内市場が伸び悩む中で、成長が期待できる中国、中東等の海外市場に向け、グローバル製品の開発を推進し市場投入を開始しました。

当第1四半期連結累計期間における同事業の売上高は531億97百万円（前年同四半期比8.0%減）、セグメント損失は2億85百万円（前年同四半期比41億17百万円の悪化）となりました。

エンジニアリング事業では、主力である国内公共部門において、廃棄物処理施設の維持管理・保守(O&M)ではほぼ例年並みの発注となりましたが、東日本大震災の影響により、新規建設工事(EPC)等において発注の遅れも見られました。一方、民間部門では設備投資の抑制を受けて厳しい状況が続きました。このような状況の中、EPCの技術力及びO&Mの全国サービス網を活用した一体運営をさらに強化し、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応するための諸施策を推進しました。

当第1四半期連結累計期間における同事業の売上高は73億99百万円（前年同四半期比12.7%減）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比85.5%減）となりました。

精密・電子事業では、世界的な省エネルギーへの流れにより太陽電池、LED業界の設備投資はアジアを中心に順調に推移しましたが、半導体業界の一部客先で設備投資計画の遅れが出てきています。このような状況の中、生産性向上によるリードタイム短縮や海外生産・海外調達の推進、装置立上部門での人材配置の最適化を進めました。

当第1四半期連結累計期間における同事業の売上高は181億41百万円（前年同四半期比24.4%増）、セグメント利益は24億63百万円（前年同四半期比268.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が115億98百万円、受取手形及び売掛金が392億18百万円減少し、有価証券が396億87百万円、仕掛品が72億20百万円増加したことなどにより、39億96百万円減少して、5,039億1百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が17億31百万円、賞与引当金が22億46百万円増加し、支払手形及び買掛金が65億32百万円、工事損失引当金が25億81百万円減少したことなどにより、46億14百万円減少して、3,483億44百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、配当金21億10百万円を支払い、四半期純利益4億17百万円を計上したほか、為替換算調整勘定が16億53百万円、少数株主持分が6億47百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億18百万円増加して1,555億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前回決算発表時(平成23年5月9日発表)以降の業績の動向等を踏まえ、営業利益、経常利益、四半期純利益の予想を以下のとおり修正いたします。

なお、平成24年3月期の通期業績につきましては、前回決算発表時から変更はありません。

《業績見通し》

()内は前期比増減

	第2四半期連結累計期間		連結通期業績	
売上高	1,800億円	(4.0%)	4,050億円	(0.8%)
営業利益	90億円	(△6.7%)	280億円	(△11.2%)
経常利益	75億円	(△3.3%)	250億円	(△13.0%)
当期(四半期)純利益	40億円	(3.0%)	130億円	(△53.9%)

《事業のセグメント別通期業績見通し》

()内は構成比

	売上高		セグメント利益	
風水力事業	2,700億円	(66.7%)	150億円	(53.6%)
エンジニアリング事業	500億円	(12.3%)	40億円	(14.3%)
精密・電子事業	750億円	(18.5%)	80億円	(28.6%)
その他の事業	100億円	(2.5%)	10億円	(3.5%)
全体	4,050億円	(100%)	280億円	(100%)

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には以下の事項があります。また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 市場環境
2. 大型プロジェクト及び海外事業
3. ドイツ・インフラサブ・プロジェクト
4. 事業再編等
5. 為替リスク
6. 金利変動リスク
7. 災害や社会インフラの障害発生にかかる影響
8. 繰延税金資産
9. 資材調達
10. 訴訟リスク
11. 法的規制
12. 土地売却費用増加リスク
13. 輸出債権回収リスク

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,675	89,077
受取手形及び売掛金	161,512	122,293
有価証券	3,327	43,014
商品及び製品	7,988	8,355
仕掛品	40,413	47,633
原材料及び貯蔵品	18,473	20,105
その他	41,479	41,950
貸倒引当金	△1,447	△1,435
流動資産合計	372,422	370,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,408	38,245
機械装置及び運搬具（純額）	22,756	23,031
その他（純額）	28,558	28,186
有形固定資産合計	89,723	89,463
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	22,200	21,016
その他	19,549	18,795
貸倒引当金	△3,233	△3,271
投資その他の資産合計	38,515	36,539
固定資産合計	135,476	132,906
資産合計	507,898	503,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	98,923	92,390
短期借入金	68,383	70,114
1年内償還予定の新株予約権付社債	20,000	20,000
賞与引当金	6,337	8,583
役員賞与引当金	164	136
完成工事保証損失引当金	7,073	6,839
製品保証引当金	1,794	1,778
工事損失引当金	16,977	14,396
土地売却費用引当金	2,871	2,848
その他	37,554	38,331
流動負債合計	260,078	255,420
固定負債		
新株予約権付社債	20,000	20,000
長期借入金	50,655	50,448
退職給付引当金	15,681	15,869
役員退職慰労引当金	359	306
資産除去債務	1,769	1,775
その他	4,413	4,523
固定負債合計	92,880	92,924
負債合計	352,959	348,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,284	61,284
資本剰余金	65,213	65,213
利益剰余金	40,759	39,278
自己株式	△266	△267
株主資本合計	166,990	165,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	796
繰延ヘッジ損益	△9	△10
為替換算調整勘定	△16,083	△14,429
その他の包括利益累計額合計	△15,039	△13,643
新株予約権	363	419
少数株主持分	2,625	3,272
純資産合計	154,939	155,557
負債純資産合計	507,898	503,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	83,180	80,037
売上原価	60,588	60,704
売上総利益	22,592	19,333
販売費及び一般管理費	17,426	16,957
営業利益	5,165	2,375
営業外収益		
受取利息	45	39
受取配当金	136	90
その他	435	140
営業外収益合計	617	271
営業外費用		
支払利息	830	676
為替差損	286	126
持分法による投資損失	75	92
その他	414	103
営業外費用合計	1,606	998
経常利益	4,176	1,648
特別利益		
固定資産売却益	18	7
事業譲渡益	—	150
特別利益合計	18	157
特別損失		
固定資産廃棄損	15	22
投資有価証券売却損	—	35
関係会社整理損	—	168
投資有価証券評価損	541	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
その他	9	10
特別損失合計	1,473	240
税金等調整前四半期純利益	2,721	1,564
法人税等	1,590	993
少数株主損益調整前四半期純利益	1,131	571
少数株主利益	143	154
四半期純利益	988	417

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,131	571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,243	△256
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△229	1,660
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	28
その他の包括利益合計	△1,492	1,431
四半期包括利益	△361	2,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△559	1,813
少数株主に係る四半期包括利益	197	188

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,721	1,564
減価償却費	3,396	3,147
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	906	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	35
引当金の増減額(△は減少)	△2,800	△575
固定資産売却損益(△は益)	△15	0
受取利息及び受取配当金	△181	△130
支払利息	830	676
売上債権の増減額(△は増加)	49,827	40,590
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,894	△7,835
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,754	△7,307
その他	7,452	3,584
小計	44,488	33,752
利息及び配当金の受取額	279	460
利息の支払額	△454	△385
法人税等の支払額	△4,288	△4,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,025	29,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,870	△1,607
固定資産の売却による収入	22	3
投資有価証券の取得による支出	△1	△175
投資有価証券の売却及び償還による収入	1	476
貸付けによる支出	△105	△439
貸付金の回収による収入	6,972	602
その他	1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,020	△1,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,694	1,944
長期借入れによる収入	6	—
長期借入金の返済による支出	△630	△315
自己株式の取得処分による収支	△5	△1
配当金の支払額	—	△2,110
少数株主への配当金の支払額	△437	△227
その他	△198	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	428	△836
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,671	27,777
現金及び現金同等物の期首残高	81,711	104,002
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	311
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,383	132,091

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,849	8,472	14,580	80,903	2,277	83,180	—	83,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	16	5	140	1,162	1,302	(1,302)	—
計	57,967	8,489	14,586	81,043	3,439	84,483	(1,302)	83,180
セグメント利益又は損失 (△)	3,831	561	668	5,061	△13	5,048	117	5,165

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,197	7,399	18,141	78,738	1,299	80,037	—	80,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	0	14	120	892	1,012	(1,012)	—
計	53,303	7,399	18,155	78,859	2,191	81,050	(1,012)	80,037
セグメント利益又は損失 (△)	△285	81	2,463	2,259	53	2,313	61	2,375

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (百万円)	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	54,912	58,190	262,155
エンジニアリング事業	29,002	16,945	82,550
精密・電子事業	15,703	12,638	74,620
報告セグメント計	99,618	87,773	419,327
その他	3,386	645	11,665
合計	103,004	88,419	430,992

② 販売の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (百万円)	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	57,849	53,197	268,942
エンジニアリング事業	8,472	7,399	51,660
精密・電子事業	14,580	18,141	67,902
報告セグメント小計	80,903	78,738	388,505
その他	2,277	1,299	13,169
合計	83,180	80,037	401,675

③ 受注残高の状況

事業の種類別 セグメントの名称	前第1四半期 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (百万円)	当第1四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (百万円)	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) (百万円)
風水力事業	167,803	164,069	157,801
エンジニアリング事業	78,548	98,365	88,813
精密・電子事業	13,937	13,661	18,942
報告セグメント計	260,289	276,096	265,557
その他	5,516	4,527	4,727
合計	265,805	280,624	270,285

(注) 上記金額は販売価格によっており消費税等は含んでいません。また、セグメント間取引消去後の金額です。